

イカナゴ



Ammodytes personatus

地方名

ちりめん(体長20~30mm)、こうなご(体長30mm以上の1歳未満魚)、おおなご、めろうど(1歳以上)

生態

- ①寿命：約5歳。
- ②成熟：オス、メス共に2歳（体長16.0cm）以上。
- ③産卵期：1月～4月。
- ④産卵場：水深50m付近の砂礫質の海底。
- ⑤分布：沖縄を除く日本各地。
- ⑥生態：主に昼は遊泳し、夜間は砂の中に潜る。
7月～10月の夏季に夏眠する。食性は端脚類、橈脚類、オキアミ類等の動物プランクトン。

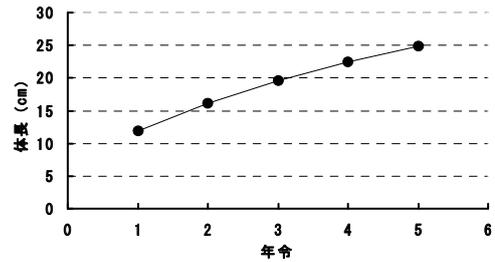


図 青森県におけるイカナゴの成長

主な漁業

定置網、光力利用敷網で漁獲。陸奥湾と太平洋で主漁期は4月～6月。当歳魚を漁獲。

漁獲と資源の動向

昭和54年の1,606トンを最後に、昭和55年以降1,000トン以下の状況が続き、平成7年からは変動幅は大きいものの1,000トンを超える漁獲量があった。しかし近年は大きく減少し、平成25年の漁獲量は9トンであった。



*平成25年の佐井村～三厩村の漁獲量は、光力利用敷網漁業の禁漁と小型定置漁業によるイカナゴ水揚げ禁止措置が行われたことから、漁獲なし。

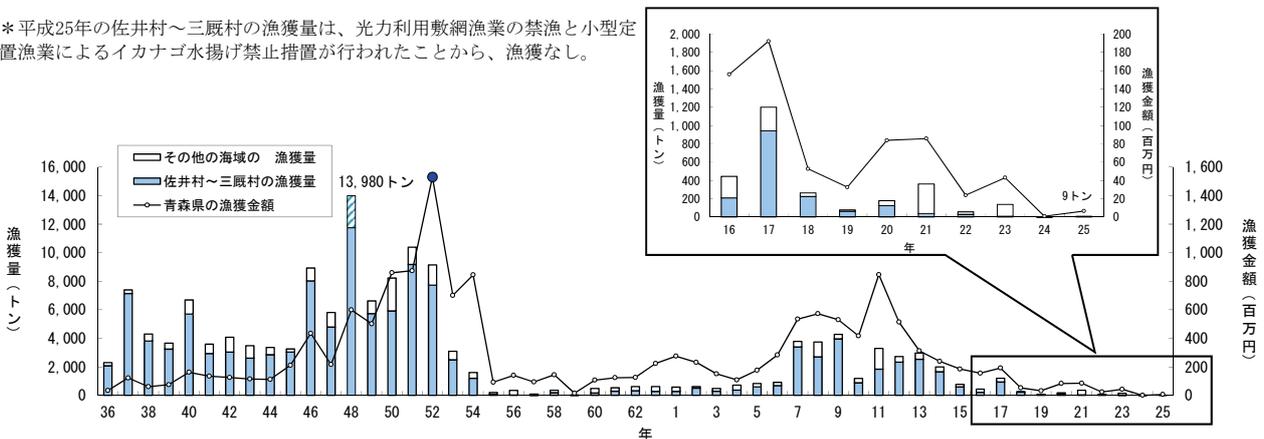


図 青森県におけるイカナゴの漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために

○青森県イカナゴ資源回復計画（三厩漁協～蓬田村漁協、脇野沢村漁協、佐井村漁協、白糖漁協、泊漁協 平成19年3月）

- ・漁期の短縮や操業統数の制限により、漁獲努力量を削減し、産卵親魚を保護する。

☆上記の取り組みを継続することが必要。

トピックス

- ・平成25年漁期から、三厩漁協～佐井村漁協までの陸奥湾湾口・湾内全域において、光力利用敷網漁業の禁漁と、小型定置漁業によるイカナゴ水揚げ禁止措置が開始し、平成26年漁期も継続実施。